

バイカモ

Ranunculus nipponicus Nakai var. submersus H.Hara

キンポウゲ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

湧水等の生育環境の悪化で激減する。個体数、生育域もごく限られている。(現況:Rー)

形態

全体が繊細でやわらかい。節から白い根を出して水底に固定し、流れになびく。沈水葉は2~7cm、葉身は3~4回3出し、裂片はさらに2分裂して全体は房状になる。花は葉腋から花柄を伸ばし、径1.5cmの花を1個水上、または水中で開く。

国内分布

北海道~本州に分布する。

県内分布

南加賀区、加賀中央区のヤブツバキクラス域の河川やため池に分布する。

生態など

茎の長さが1~2mにもなる沈水性多年生草本である。開花期は5~11月。花弁は薄く、白色で光沢がない。花柄は花がすむとさらに伸びる。果実は瘦果で背面に短毛が出る。

生育環境

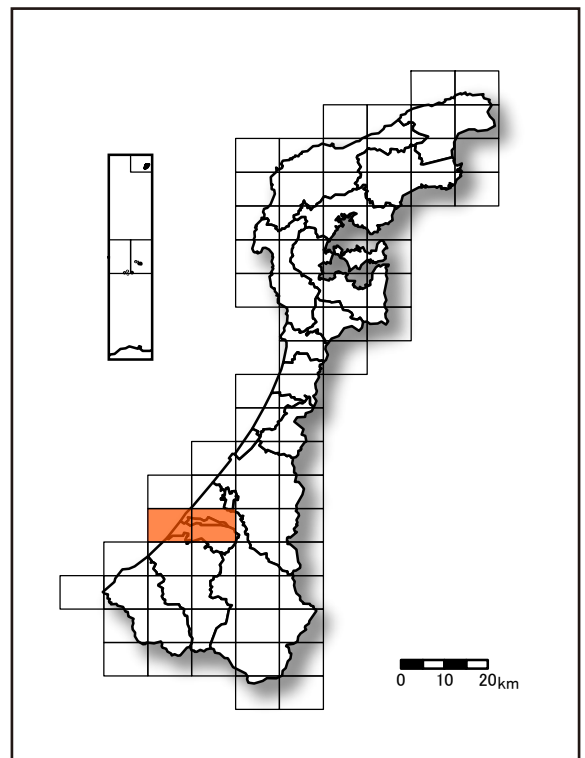
浅くてきれいな流水中に生育する。

危険要因

河川開発、水質汚濁。



白井伸和・2003年9月15日・川北町・(花)本多郁夫



県内の分布